

「私の歩んできた道」(抜粋) 木村フジエ

昭和20年頃 常呂村朝日の井戸

『私のあゆんだ道』(平成元年) 掲載

(略) 昭和19年11月、結婚と同時に常呂に来ました。(略)
常呂の上杉さんのお世話で氷蔵だった三号倉庫を借りて一冬暮らしましたが、一番困ったことは水でした。常呂の水は塩分があっっておいしくなく、共同井戸(注:朝日の井戸)が1ヶ所、中台外科医院、漁協信用部(注:現本通り会館)の通りから山手に向かった橋(注:旧常呂橋)の弁天側にありまして、飲み水は本通り、大通りの町内の方はほとんどその井戸から天秤で担いだものです。

当時の常呂川は底まで透き通るほど水がきれいでした、氷に穴を開けてお米を研いだり洗濯したりしました。(略)

*注:通称「朝日の井戸」は、旧常呂橋の弁天側・橋の南側たもとにありました。